

木くらげ

浅田野路（環境人間学部環境デザイン系 3 回生）

キーワード：ものづくり，イベント，建築

1. 団体説明

木くらげは、①モノづくりを通じて技術やデザイン力を向上させるとともに、共同作業を通じて意見を調整し合う力や役割分担によって責任感を養う場を提供、②制作物を活用し、学年の垣根を越えた学生同士の自然な交流を生み出し、豊かな学生生活を実現することを目的としている。具体的には、企画から設計、制作までの全工程を学生主体で進める中で、役割分担や進捗管理を行いながらチームとして成果を上げる経験を重ねている。また、完成した作品を大学内で利用してもらうことで、多様な学生が関わり合い、交流が広がる場を提供している。現在 1 回生 12 名、2 回生 4 名が所属している。

2. 2024 年度の活動

7 月に開催されたエコフェスに、木のおもちゃを作って出店した。新たにスマートボールを作成し、昨年作成したモルックと併せて、小さな子どもたちに向けた遊びを提供した（写真 1）。また、どんぐりのコマを配布し、木に触れることで楽しい体験をしてもらえよう工夫した。EHC カフェ「喫茶ルリアン」のオープンにあたり、8 月にはテーブルの作成を実施した（写真 2）。部屋の幅に合わせたサイズ調整や、椅子や窓の高さに適した詳細な設計を行った。カフェの運営をされる方と、メンバーで話



写真 1 スマートボール

表 1 2024 年度の活動内容

7 月	エコフェス
8 月	テーブル作成
12 月	ベンチ作成

資料：筆者作成



写真 2 テーブル作成の様子

し合い具体的な材料や予算を決定していく過程で複数人が関わるプロジェクトの大変さを実感した。現在は、学校の屋外に座るスペースが少ないため、ベンチ作成を実施している。

3. 活動を通した学び

活動を通じて、材料の扱い方や加工技術だけでなく、チームで協力し一つの作品を完成させるプロセスの重要性を実感した。これらの活動を通じて、実践力や発想力に加え、使用者を想定した目的意識を持つことの大切さを身につけた。

4. 展望

ものづくりを通じて学生同士の交流を促進し、より充実した大学生活を送れる環境づくりを目指していきたいと考えている。また、制作物を大学内だけでなく、姫路駅など地域の公共スペースに展示・設置することも考えており、実際に建築の仕事をしている人との交流の機会を作ることを目標としている。